

仕様変更のご案内

SW1A形 Automation Organizer インストーラ

Automation Organizer インストーラの仕様変更についてご案内いたします。

仕様変更一覧

No.	仕様変更内容	対象バージョン	リリース日
1	スタートメニューの変更	Automation Organizer Ver.3.17.0 以降 (製品形番：SW1A-W1C)	2019年12月
2	マニュアルインストーラの廃止		
3	WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 のプロジェクト ファイルの デフォルト保存場所の変更		

仕様変更1

【対象製品】

Automation Organizer Ver.3.17.0 以降の下記ソフトウェアのインストーラ

- Automation Organizer
- WindCFG
- WindLDR
- WindO/I-NV2
- WindO/I-NV3
- WindO/I-NV4
- データ ファイル マネージャー
- USB オートラン定義ファイル作成ツール
- Downloader
- Pass-Through Tool

【内容】

Automation Organizer Ver.3.16.2 以前のインストーラでは、スタートメニューに複数のメニューが存在し、フォルダで分類されていました。（図 1-1）

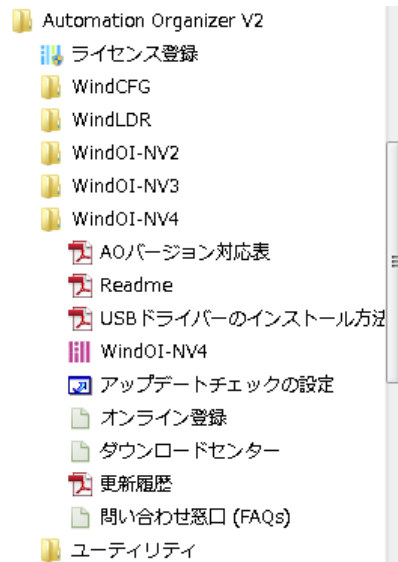


図 1-1 : Automation Organizer Ver.3.16.2 のスタートメニュー

Automation Organizer Ver.3.17.0 以降のインストーラでは、メニューが Automation Organizer 同梱の各ソフトウェア上に移動しています。（図 1-2）

また、スタートメニューのフォルダが削除されています。（図 1-3）

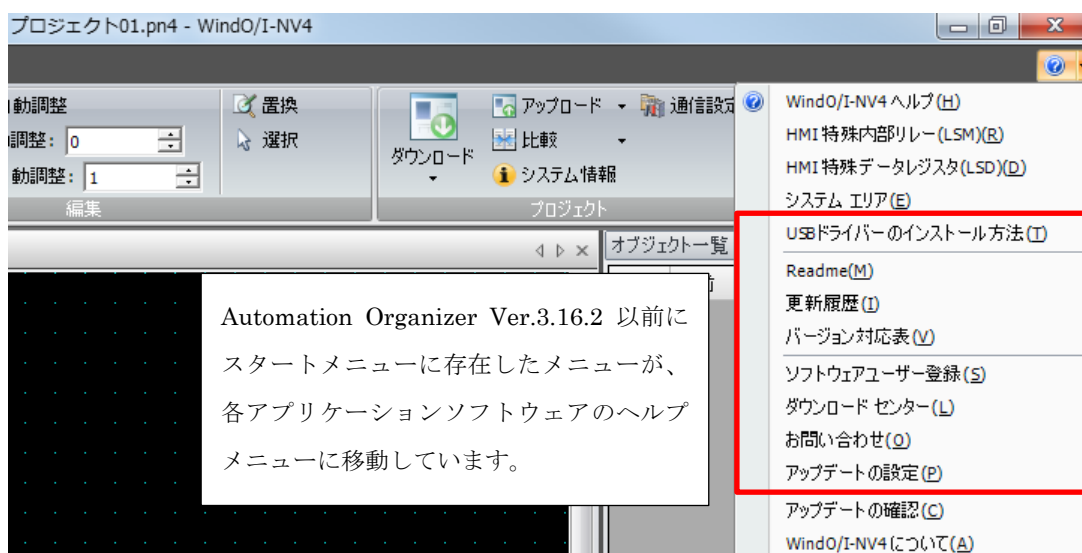


図 1-2 : ソフトウェア上のメニュー（WindO/I-NV4 の例）



図 1-3 : Automation Organizer Ver.3.17.0 のスタートメニュー

仕様変更 2

【対象製品】

Automation Organizer Ver.3.17.0 以降のマニュアルインストーラ

【内容】

Automation Organizer Ver.3.16.2 以前ではマニュアルインストーラがサポートされていましたが、Automation Organizer Ver.3.17.0 以降ではマニュアルインストーラはサポートされません。

弊社ホームページ「IDEC メンバ サイト」より各製品に対応したマニュアルをダウンロードしてください。

<https://jp.idec.com/ja/download/search.aspx?category=&tab=manual>

仕様変更 3

【対象製品】

Automation Organizer Ver.3.17.0 以降の下記ソフトウェア

WindO/I-NV2

WindO/I-NV3

【内容】

Automation Organizer Ver.3.17.0 ではインストール先フォルダ名が “Automation Organizer V2” から “IDEC Automation Organizer” に変更されました。本仕様変更と、「WindO/I-NV2 および WindO/I-NV3 は、[プロジェクトを開く] ボタンを押下すると、インストール先フォルダ内の “UserData” フォルダを開く」という仕様により、WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 の動作に以下の影響があります。

- [プロジェクトを開く] ボタン押下で表示されるデフォルトの保存先フォルダが、旧バージョンとは異なるフォルダとなります。
- 古いバージョンでデフォルトの保存先に保存したプロジェクトファイルが失われたように見えます。

Automation Organizer Ver.2.00 から Ver.3.16.2 をインストールした場合、WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 は“Automation Organizer V2”フォルダ直下の”WindO/I-NV2”フォルダおよび“WindO/I-NV3”フォルダにインストールされます。作成したプロジェクトファイルはデフォルトで各フォルダ内の“UserData”フォルダに保存されます。（図 3-1）

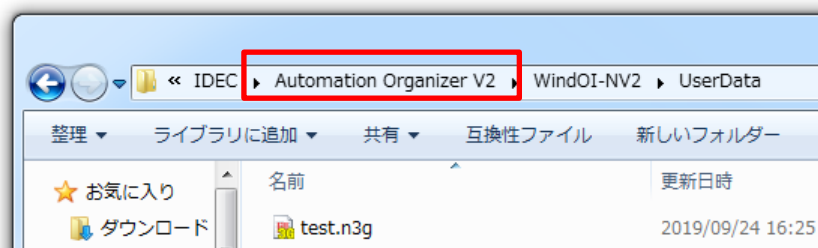


図 3-1 : Automation Organizer Ver.2.00～Ver.3.16.2 のフォルダ構成（WindO/I-NV2 の例）

一方、Automation Organizer Ver.3.17.0 をインストールした場合、“IDEC Automation Organizer”フォルダ直下の“WindO/I-NV2”フォルダおよび“WindO/I-NV3”フォルダにインストールされます。（図 3-2）

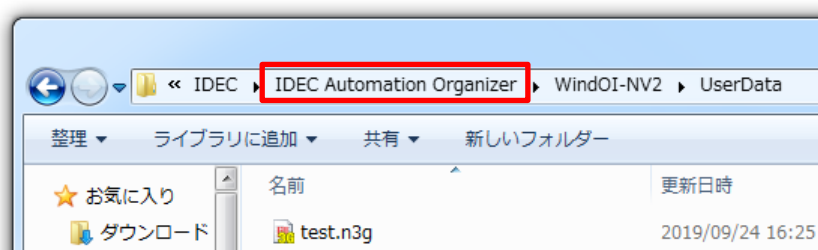


図 3-2 : Automation Organizer Ver.3.17.0 のフォルダ構成（WindO/I-NV2 の例）

上記により、新バージョンのソフトウェアを起動し、旧バージョンで作成したプロジェクトファイルを開くために [プロジェクトを開く] ボタンを押下すると、デフォルトの保存先である“IDEC Automation Organizer”フォルダ内の“UserData”フォルダが開きます。しかし、旧バージョンで作成したプロジェクトファイルは“Automation Organizer V2”内の“UserData”フォルダに保存されているため、[プロジェクトを開く] ボタンの押下で表示される“UserData”フォルダが旧バージョンのフォルダとは異なり、プロジェクトファイルが失われたように見えます。

【回避方法】

旧バージョンで作成したプロジェクトファイルは、旧バージョンのインストール先フォルダの“UserData”フォルダから取得してください。

WindO/I-NV2 の場合	C:\Program Files\IDEC\Automation Organizer V2\ WindOI-NV2\UserData
WindO/I-NV3 の場合	C:\Program Files\IDEC\Automation Organizer V2\ WindOI-NV3\UserData